

高圧注入止水工法

TAPグラウト工法[®]

工法特許出願（コンクリート構造物の止水方法）

NETIS登録番号 KT-010022

日本セリノール防水事業協同組合指定工法

<http://www.japan-cerinol.com>

茶谷産業株式会社



TAPグラウト工法

TAPグラウト工法は、今までの止水工法の歴史を変えます。今までのコンクリート構造物の止水工事は、手押しポンプなどで注入液を注入するか、急結セメントで止水する方法等といったコンクリート表面のみの処理でした。この為、コンクリート構造物内部に水が存在している状況が続き、新たに他の水の道より漏水が発生する可能性があります。

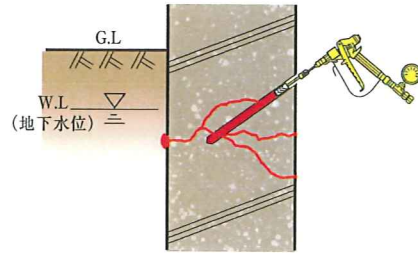
高圧注入止水工法“TAPグラウト工法”はコンクリート構造物中に存在している水の道へ“TAP注入機”を用いて“タップグラウト注入液”を継続的に高圧力をかけ、充填します。

従って、コンクリート躯体内に存在する空隙(隙間)や水は、注入止水材に置換されます。

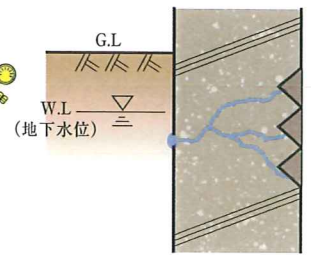
また、穿孔部内は加圧域となりますが、注入孔に着脱が簡便な逆止弁付注入用プラグ“O-プラグ”を設置することで作業能率ははるかにアップします。

高圧注入止水工法“TAPグラウト工法”は止水効果はもちろんの事、密度や耐久性向上、施工性及び経済性さらに美観上からも画期的な工法です。

TAPグラウト工法（躯体止水）

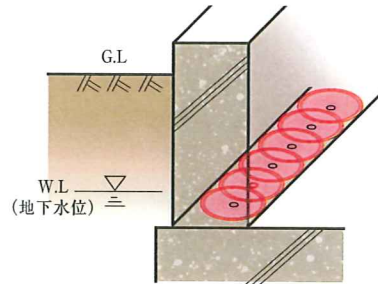


従来工法（表面止水）

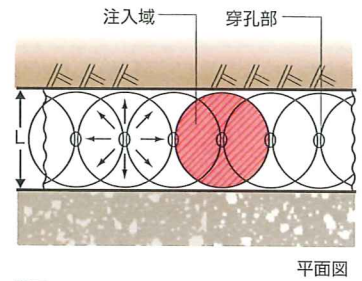


TAPグラウト工法

注入充填状況図



打継ぎ平面図



適用箇所

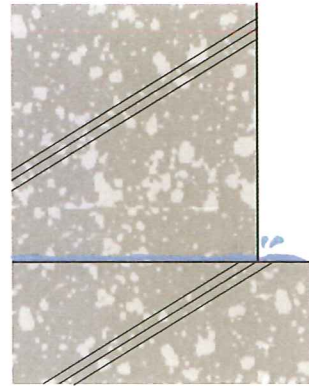
地下構造物の打継ぎ、コールドジョイント、クラック、豆板（ジャンカ）、セパレーター、H鋼廻り等のコンクリート貫通部他。

建築	水槽、ピット、プール、地下駐車場及び地下内外壁・床・天井
土木	トンネル、共同溝、ダム、橋桁、カルバート他

標準施工手順例

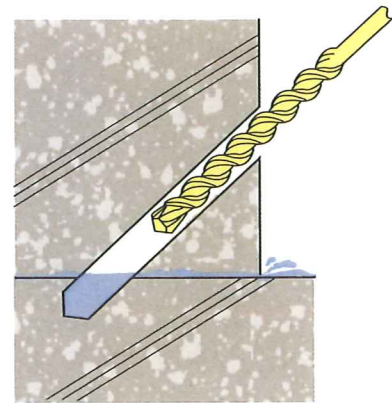
1 現地調査 工法選定

漏水していると思われる箇所を清掃し、漏水箇所を確認する。
出水量によって注入孔の位置、ピッチ等を選定する。



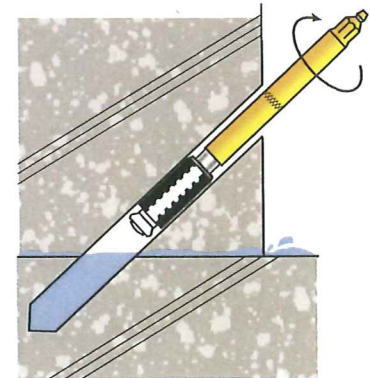
2 注入孔 穴あけ

漏水箇所、もしくはその上下から漏水箇所を貫通する様に
ハンマードリル等にて注入孔を開ける。



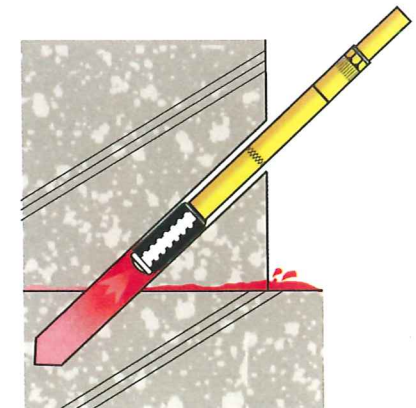
3 清掃 O-プラグ設置

注入孔を清掃し、O-プラグを締め付け設置する。



4 タップグラウト液 注入

O-プラグから注入液を注入する。(圧力は状況に応じて変える)



5

O-プラグ
除去

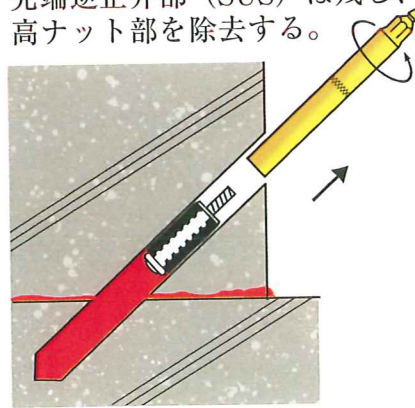


6

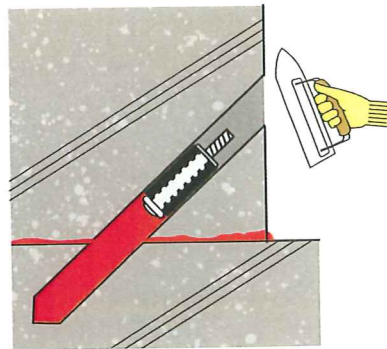
タップシール充填
表面仕上げ

〈O-プラグ 10φ SUSの場合〉

先端逆止弁部 (SUS) は残し、
高ナット部を除去する。

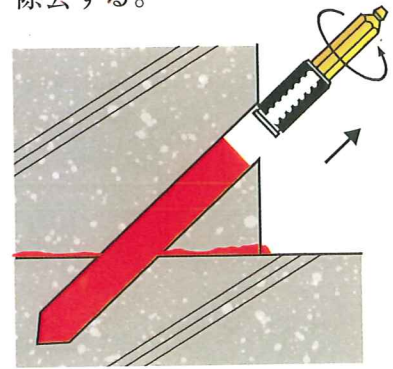


タップシールで充填する。

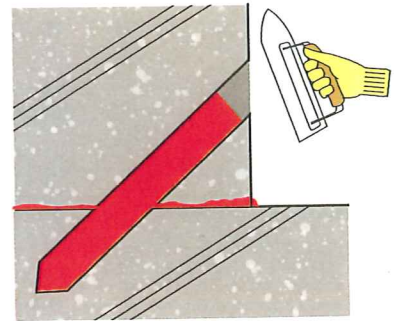


〈O-プラグの場合〉

注入液硬化後O-プラグを
除去する。



タップシールで充填する。



施工例

